

第2弾
憲法パンフレット

安倍9条改憲に終止符を！ 憲法が生きる社会をめざそう



安倍9条改憲に
終止符を！
憲法が生きる社会をめざそう

日本国憲法第九條
[戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認]
日本国は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、國際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。前条の目的を達する為め、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。國の交戦権は、これを認めない。

憲法會議

- ◆参院選で改憲派が3分の2割れ
今こそとどめを刺そう安倍9条改憲
- ◆憲法をくらしに生かそう
●各界より“憲法を語る”
- ◆憲法会議はこう考え
行動しています
●頒価100円 ●送料別途
●24頁 ●A5判
●2019年11月9日発行

憲法ポスター

- 1枚100円 ●A2判
- 多部数割引有り
- 送料別途



憲法講座DVD

- 渡辺治氏講演
- 山下芳生氏国会報告<103分>
- 1枚 1000円 ●送料 180円

(発行) 憲法會議 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10
神保町マンション202 TEL.03-3261-9007
E-mail:mail@kenpoukaigi.gr.jp

日韓問題を考えるリーフレット

いまのままでいいのか
日本と韓国との関係
歴史を直視し、
韓国・朝鮮との友好と、
非核・平和の
北東アジアを実現しよう

- 日朝協会、憲法會議で共同発行
- 1部 10円 ●送料別途

お申込み

FAX 03-3261-5453

このままでいいのか？
日本・韓国との関係
歴史を直視し、
韓国・朝鮮との友好と、
非核・平和の北東アジアを実現しよう

「徴用工」問題と日韓関係の
かつてない悪化
2018年10月25日、韓国大法院（最高裁判所）は、韓国人の元徴用工4人が戦時中に過酷な労働を強いられた元日本責任者（元・日本製鉄）に対して求めた慰労料請求権を認めざる判決を確定させた。続いて11月29日に三菱重工業を被告とする裁判でも同様の判決を確定させた。これについて安倍首相は、10月30日の国会で、日韓請求権協定により元徴用工個人の請求権は「完全かつ最終的に解決している」と断言した。これに反発する韓国政府は、徴用工の被害を認めず、賠償の目的を達するため、憲法第9条を改正し、戦時中の過酷な労働を認め、賠償を請求する権利を認めるとしている。この改正案は、これまでにない悪化の要因となっている。

日本は韓国と絶縁してもいいのでしょうか？
韓国は戦後、経済成長を遂げ、世界に目を向け、国際社会に積極的に参加している。韓国は、戦後70年が経ち、300万人の日本人が韓国を訪れるなど、日韓の民間交流はかつてないほど盛んになっている。また、韓国の若者が日本の文化やスポーツに憧れ、交流も盛んになっている。

しかも今の世界は昔とは比べられないくらい、各国の経済関係は相互に深く結びついている。日本と韓国との経済関係も深く結びつき、そのなかで日韓貿易では日本は年間2億円の赤字を生み出している。アメリカと中国がどんなに対立しても戦争にまでならない。戦争によって日韓貿易が断絶したら、双方とも経済が破たんするからである。

そんな世界に今生きている私たちは、韓国との平和で互いに協力し、繁栄できる関係を築いていこう。韓国、そして日韓関係の相互理解を深めるためには、日韓関係の悪化のきっかけとなった徴用工問題も含めて、日韓関係にあっていくべき歴史的事実をまず知っておくことは欠かせない。

写真：東アジア青少年歴史研修キャンプ